

株主のみなさまへ

第64期 営業のご報告 (第2四半期)

2009年4月1日～2009年9月30日

HOUSE FOODS REPORT



House Foods

House Foods

おいしさとやすらぎを
ハウス食品

株主のみなさまには日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2010年3月期第2四半期の事業の概況をご報告させていただきますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

主力製品の売上は堅調だったものの、グループ会社の飲料製品が苦戦し、連結売上高は微減収となりました。

当第2四半期累計期間のわが国経済は、円高が経済全般に少なからず影響を与え、雇用情勢の悪化や個人消費の低迷により、デフレ傾向が色濃くなる等、停滞感が続く環境下にありました。

生活関連分野では、完全失業率が過去最高水準となるなど雇用・所得環境に大きな改善が見られないなか、お客さまの生活防衛意識が高まり、依然厳しい企業間競争が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、2009年4月からスタートした第三次中期計画により、成長を牽引する事業と収益の維持・拡大を図る事業を明確に区分し、経営資源を適切に配分することで、経営目標の達成に向けた取組を進めております。9月には、成長ドライバーに位置づける健康食品事業ならびに通信販売事業の強化に向け、食事

代替製品とユーザーサポートをセットにしたダイエットプログラム「ニュートリシステムJ-ダイエット」の発売を発表いたしました。

売上面におきましては、景気の低迷で内食化傾向や節約志向が強まる状況にあるなかで、“嵐プレミアムナイトご招待キャンペーン”を実施するなど、主力製品を中心とした積極的な販売促進活動を展開しましたことから、ルウカレー製品やレトルトカレー製品が堅調に推移しましたほか、製品ラインナップを強化し、売場拡大に努めましたスパイス製品が売上を伸ばしました。しかし、ハウスウェルネスフーズ(株)の機能性飲料製品“C1000”シリーズが、最需要期である夏場の天候不順の影響もあり、苦戦を強いられました。以上の結果、当第2四半期累計期間の連結売上高は前年同期比0.6%の減収となりました。

連結営業利益、連結経常利益、連結四半期純利益は増益となりました。

利益面では、主力のルウカレー製品や健康食品の売上が比較的順調であったことに加え、継続的なコストダウン活動に取り組んでまいりましたこと等から、連結営業利益は前年同期比10.1%の増益、連結経常利益は前年同期比9.8%の増益、連結四半期純利益は前年同期比10.7%の増益となりました。

中間配当金は、1株につき11円とさせていただきます。

当社グループは、株主のみなさまへの利益還元を経営の最重要課題の一つと位置づけ、収益性の向上と財務体質の強化に努めるとともに、業績・事業計画などを総合的に勘案し、安定的な配当を継続してまいります。

2010年3月期の中間配当金は、前期同様1株につき11円とし、期末配当金も同額の11円とさせていただく予定にしております。

通期の売上高を下方修正させていただきましたが、引き続き増収・増益をめざしてまいります。

2010年3月期の見通しでございますが、在庫調整の一巡や経済対策の効果が期待されますものの、雇用環境の速やかな改善が見込まれないことから、将来に対する不安感や依然払拭されないものと思われます。このような状況のもと、企業を取り巻く経営環境は、金融危機の影響が尾を引くなか、原材料価格や為替の動向にも不透明な部分が残されており、引き続き厳しい状況が続くものと予想されます。

これらの要因や第2四半期累計の業績を考慮して、期初の業績予想を修正し、連結売上高は2,246億円（前期比0.9%増）とさせていただきます。また、利益面につきましては期初の業績予想のとおり、連結営業利益は110億円



（前期比7.8%増）、連結経常利益は120億円（前期比9.2%増）、連結当期純利益は62億円（前期比31.2%増）いたします。

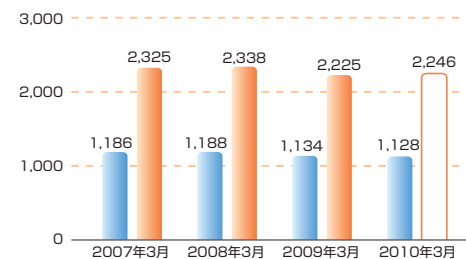
何卒株主のみなさまにおかれましては、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2009年12月

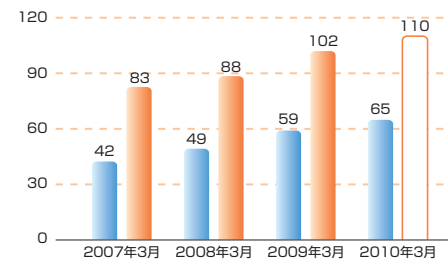
取締役社長

浦上博史

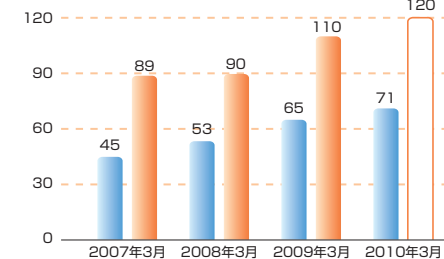
連結売上高



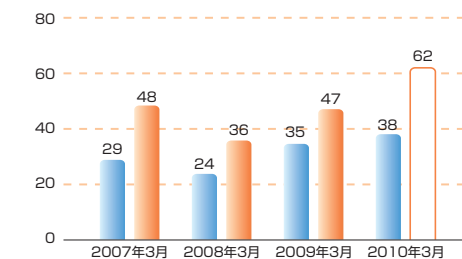
連結営業利益



連結経常利益



連結四半期(当期)純利益



食 料 品

ルウカレー製品は、「バーモントカレー」がキャンペーン活動の効果もあり順調に推移しましたほか、「ジャワカレー」も売上を拡大いたしました。また、レトルトカレー製品は、「咖喱屋カレー」が低価格志向の流れから、好調な伸びを示しましたことに加え、本年2月に発売しました「めざめるカラダ朝カレー」が新しい食提案として受け入れられたことから、増収となりました。



スパイス製品は、積極的な販促活動を実施しました「ねりスパイス」が好調な売上を示しましたことや、「コンヨー」「洋風スパイス」などのスタンダードなパウダースパイス製品が順調であったこと等から、前年同期を上回る売上となりました。



カップ製品では、若い女性を中心に好評いただいております「スープdeおこげ」が、ラインナップの充実も寄与し、売上を大きく伸ばしております。

袋麺製品では、ロングセラー商品「うまかつちゃん」が、九州地区を中心に展開した発売30周年キャンペーンが奏功し、増収となりました。



健康食品では、「ウコンの力」が新たな販売ルートの開拓に取り組みしましたほか、女性をターゲットにした<カシスオレンジ味>の定着も進みました。また、スパイスを活用した新機能性飲料「メガシャキ」が着実に市場浸透を図ることができました。しかしながら、子会社ハウスウェルネスフーズ㈱の「C1000レモンウォーター」は、激しい競合環境のなか、前年同期の売上を下回る結果となりました。



業務用製品では、ルウ・フレーク製品やレトルト製品が底堅く推移しましたものの、外食需要の全般的な低迷から、減収となりました。



海外事業では、中国のルウカレー事業が、業務用分野での拡がりが見られました一方、工場移転に伴い積極的な販売活動ができなかったことから、全体では減収となりました。また、米国豆腐事業は、競合他社の低価格攻勢を受けましたものの、東部・中西部地区での新規導入が進みましたことから

順調に推移しましたが、円高の影響で概ね前年同期並みの売上実績となりました。カレーレストラン事業は、将来の市場拡大が見込まれる中国、台湾、韓国で、新規出店と不採算店の見直しをスピーディーに進め、売上拡大と収益性向上に努めました。



韓国カレーハウス㈱ 江南店

以上の結果、食料品の売上高は1,069億73百万円、前年同期比0.8%の減収、営業利益は83億8百万円、前年同期比8.3%の増益となりました。

運 送 ・ 倉 庫 業 他

運送・倉庫事業は、子会社ハウス物流サービス㈱が、物流拠点の整備を進めるとともに、グループ外企業の物流業務を包括受託する事業の拡大に注力しましたことから、前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、運送・倉庫業他の売上高は57億85百万円、前年同期比3.6%の増収、営業利益は2億77百万円、前年同期比4.6%の増益となりました。



ハウス物流サービス㈱ 埼玉配送センター

ダイエツト食品事業へ新規参入！

当社は、10月より「ニュートリシステムJーダイエット」事業を開始いたしました。本年4月よりスタートしております第三次中期計画において、成長ドライバーと位置づける健康食品事業ならびに通信販売事業の強化に向け、新たな試みに取り組んでまいります。ここでは、開発責任者より、事業内容を詳しく説明いたします。

なぜ、ダイエット食品事業に参入したのですか？

日本では、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の対象の方は、予備群を含め約2,000万人にのぼります。以前はダイエットといえば女性というイメージでしたが、現在は男性も含め、**約3,000億円規模の市場にまで成長**しています。

この高い成長性に着目し、ハウス食品独自のレトルトや粉体の技術・設備を活かした事業ができないかと考えていたところ、米国子会社で長年展開している豆腐事業の原料である**大豆成分の有効性を活用した、健康的なダイエット食品**を開発するアイデアが浮上しました。同時に、通信販売によるダイエット食品事業で実績のある米国ニュートリシステム社(以下、NS社)との提携の可能性を検討することとなりました。

ニュートリシステム社との提携のメリットは？

NS社は米国で急成長している企業です。ハウス食品はNS社と提携することで、NS社が10年以上かけて蓄積してきた**顧客の販売管理システムとユーザーサポートの仕組み**を利用することができます。加えて、NS社がハウス食品とよく似た製品群を提供していたことも提携のポイントとなりました。

その結果、NS社の仕組みとハウス食品独自の技術を活かした製品を提供することで、日本人向けにアレンジした「ニュートリシステムJーダイエット」を開発することができました。

「ニュートリシステムJーダイエット」の特長は？

「おいしく食べて、しっかりダイエット。」がニュートリシステムJーダイエットの最大の魅力です。ハウス食品の持つ製造技術により、おいしくカロリーコントロールされたカレーやシチューなどを食べながら、ダイエットに取り組むことができます。また、ダイエット失敗の6割が途中で挫折してしまうことといわれています。ハウス食品の仕組みでは、**管理栄養士が個人個人に合ったダイエットプランを作成し、電話・メールでカウンセリング**を行い、達成までしっかりサポートします。

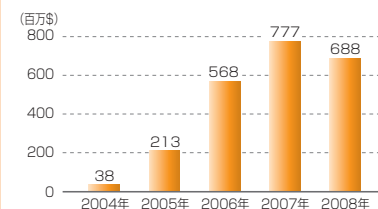
1日3食のうち2食を、ハウス食品が開発した製品メニューから選んでいただくシステムですので、無理なく続けることができます。あくまでも目安ですが、1週間で0.6kg~0.8kg、6週間で約5kgのダイエットを想定しています。



常務執行役員
健康食品部長
加藤 浩



NS社売上高推移



※画像はイメージです。

管理栄養士の
カウンセラーが
あなたのダイエット
ライフを応援!

どのような製品がありますか？

製品の特長として、次の5つがあります。

1. 低カロリーでウエイトコントロール
2. 満足できるおいしさとボリューム
3. 豊富なメニュー
4. 必要な栄養素をしっかり配合
5. ダイエットをサポートする「ソイブリッドテクノロジー※」



ミールメニュー(主食タイプ)



ライトメニュー(軽食タイプ)



※料理写真は調理例です。



メニューの内容としては、カレーや親子丼などの主食タイプのミールメニューから、ビスケットやドリンクといった軽食タイプのライトメニューまで30品目をご用意しました。

※大豆たん白と大豆サポニンの組合せによるハウス食品独自の配合技術

今後の計画を教えてください。

今年の10月より首都圏で広告展開を始めました。来年の4月からは全国展開を予定しており、製品も60品目に順次増やしていきます。

初年度は6ヶ月で約3億円の売上を見込んでおりますが、**5年後には100億円規模の事業にまで拡大**させ、ハウス食品の収益源へと成長させていきたいと考えています。



黒木瞳さんと久保純子さんをイメージキャラクターに起用



通常価格 19,600円を

初回限定
お試し価格 **13,720円**

1日2食
980円

28食分(2食×2週間分)
+サポートキット(4点)とDVD



お求めは、ニュートリシステムJーダイエット専用WEBサイトから

事業発表会を開催

9月17日、東京にて「ニュートリシステムJーダイエット」の事業発表会を開催いたしました。108名のメディア関係者とアナリストに集まっていただき、NS社CEOジョー・レドリング氏とハウス食品社長浦上博史とによる事業説明や試食会が行われました。

浦上からは、単なるダイエット食品ではなく、カウンセリングを含めた複合的なサービスの提供に取り組んでいくことを説明したほか、ジョー・レドリング氏からは、「両社の最も優れた面を結合したシステムが作れた」と、「ニュートリシステムJーダイエット」の日本での展開に強い期待を込めたメッセージが語られました。



NS社CEOジョー・レドリング氏(左)
ハウス食品社長浦上博史(右)

TOPICS 1

『C1000げんきいろプロジェクト』始まる！

グループ会社のハウスウェルネスフーズ(株)では、2010年に発売20周年を迎える「C1000」ブランドのイメージ向上と売上拡大をめざし、『C1000げんきいろプロジェクト』をスタートしました。「C1000」ブランドのカラーである“黄色”はみんなを“元気”にする色と考え、みんなの元気を応援する活動に取り組んでいます。

「C1000」ブランド製品のサンプリングやキャンペーン活動を積極的に実施しているほか、テレビCMに女優の篠原涼子さんを起用し、「C1000」ブランドの爽やかで元気なイメージをアピールしています。“誰かの元気があなたを元気にし、あなたの元気が誰かを元気にする”。「C1000」ブランドを通じて元気のリレーが広がるような様々な活動を展開していきます。



サンプリング風景



TOPICS 2

台湾で『カレー博覧会』を実施！

“健康的でおいしい日本のカレーを世界みなさんに味わっていただきたい”という願いから、ハウス食品は世界各国にカレーをお届けしています。

当社がトップシェアを誇る台湾市場において、カレーが持つ健康感や魅力をより多くの方々に知っていただきたく、本年6月に『カレー博覧会』を開催いたしました。

3日間という短い期間でしたが、カレーレシピコンテストや試食、料理教室など様々なイベントを行い、計5,000名以上の方が来場され、カレーメニューへの関心の高さがうかがえました。期間中には、現地の新聞や雑誌、テレビ局の取材も入り、台湾において“カレーはハウス”というイメージも一層高めることができました。

台湾でカレーレストランを展開するグループ会社の台湾カレーハウスレストラン(株)とも連携し、今後も日本式カレーの普及・拡大に努めてまいります。



台湾の新聞に掲載された記事



料理教室の風景

●「メガシャキ」

仕事・勉強・ドライブなどの頑張りを元気にサポート

当社がこれまで蓄積してきたスパイスのノウハウを活かし、20～30代のオフィスで働く方や学生、ドライバーをターゲットにしたリフレッシュ飲料です。香辛料抽出物(ショウガ・トウガラシ)にカフェイン、アルギニンを配合したジンジャーレモン味の炭酸飲料なので、おいしくお楽しみいただけます。



●「GABANミニパックシリーズ」

使い切りやすいミニパックタイプの洋風スパイス

スパイスを使用した本格的なメニューにチャレンジする方が増えるなか、“使い切れずに困る”“価格が高い”といった声が多く聞かれていました。これらのご要望にお応えべく、洋風スパイス「GABAN」シリーズに使い切りやすい内容量のミニパックタイプを新発売しました。



●「野菜ソムリエのカレーレシピ」

野菜のうまみにこだわった新しい味わいのレトルトカレー

全国で第1号の野菜ソムリエであるKAORUさんの協力のもと、当社独自の技術を活かし、凝縮された野菜のうまみをお楽しみいただける新しい味わいのカレーを発売しました。動物性原料を使用していないカロリー控えめな野菜カレーです。



●「こくまるプラス クリームシチュー」

“おいしさそのまま”カロリーオフタイプのクリームシチュー

健康志向の高まりや世帯構成の変化を捉え、こくまるクリームシチューに3つの価値をプラスしました。

1. こくまるクリームシチューのおいしさをそのままにカロリー30%オフを実現※¹
2. 当社独自の“無加水造粒製法”※²でつくった顆粒状なので、溶けやすくダマになりにくい
3. 2皿分×3袋で少人数のご家族にも対応

※1 1皿当たり、当社「こくまるクリームシチュー」との比較

※2 乳成分やパイロン、小麦粉、デンプン等のシチューの材料を、油脂成分で顆粒状に固める製法



連結貸借対照表

単位:百万円

	当第2四半期末 (2009年9月30日現在)	前 期 末 (2009年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	108,276	99,916
現金及び預金	18,600	16,920
受取手形及び売掛金	42,858	38,511
有価証券	29,948	28,249
商品及び製品	7,281	7,019
仕掛品	1,157	1,047
原材料及び貯蔵品	3,261	3,258
繰延税金資産	3,236	3,050
その他	1,937	1,871
貸倒引当金	△ 3	△ 10
固定資産	127,704	128,310
有形固定資産	64,043	64,634
建物及び構築物	21,133	21,330
機械装置及び運搬具	9,426	9,877
土地	27,307	26,975
リース資産	5,017	5,052
建設仮勘定	116	373
その他	1,043	1,027
無形固定資産	11,563	13,784
のれん	8,244	10,307
ソフトウェア	2,896	3,152
ソフトウェア仮勘定	185	162
その他	238	163
投資その他の資産	52,098	49,892
投資有価証券	41,536	39,844
長期貸付金	296	267
繰延税金資産	298	379
長期預金	2,100	2,100
前払年金費用	5,157	4,568
その他	2,939	2,926
貸倒引当金	△ 228	△ 192
資産合計	235,980	228,226

	当第2四半期末 (2009年9月30日現在)	前 期 末 (2009年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	42,802	40,357
支払手形及び買掛金	22,231	19,839
短期借入金	614	579
リース債務	357	335
未払金	12,052	12,064
未払法人税等	3,138	3,128
役員賞与引当金	39	79
その他	4,372	4,333
固定負債	10,145	9,347
リース債務	4,644	4,699
長期未払金	925	1,053
繰延税金負債	1,745	625
退職給付引当金	2,267	2,404
役員退職慰労引当金	18	38
その他	546	529
負債合計	52,946	49,704

純資産の部		
株主資本	181,204	178,602
資本金	9,948	9,948
資本剰余金	23,868	23,868
利益剰余金	148,711	146,107
自己株式	△ 1,324	△ 1,322
評価・換算差額等	1,514	△ 406
その他有価証券評価差額金	2,665	941
為替換算調整勘定	△ 1,150	△ 1,347
少数株主持分	315	326
純資産合計	183,033	178,522
負債純資産合計	235,980	228,226

連結損益計算書

単位:百万円

	当第2四半期 累 計 期 間 (2009年4月～ 2009年9月)	前第2四半期 累 計 期 間 (2008年4月～ 2008年9月)
売上高	112,758	113,406
売上原価	60,615	61,757
売上総利益	52,143	51,649
販売費及び一般管理費	45,598	45,704
営業利益	6,545	5,944
営業外収益	636	720
受取利息	171	199
受取配当金	189	209
持分法による投資利益	147	162
為替差益	35	—
その他	95	151
営業外費用	49	170
支払利息	22	25
為替差損	—	121
その他	27	24
経常利益	7,132	6,493
特別利益	13	5
固定資産売却益	3	1
貸倒引当金戻入額	4	—
投資有価証券売却益	—	2
その他	5	2
特別損失	271	277
固定資産除却損	161	111
会員権評価損	46	—
減損損失	7	—
退職給付制度改定損	—	129
その他	57	37
税金等調整前四半期純利益	6,873	6,221
法人税等	3,072	2,792
少数株主損失(△)	△ 28	△ 30
四半期純利益	3,829	3,459

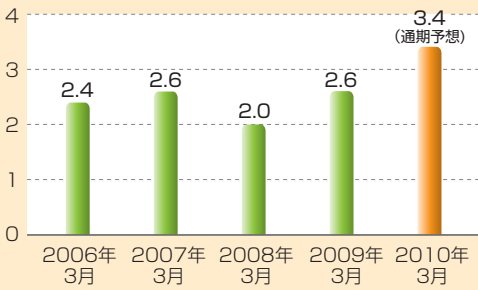
連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

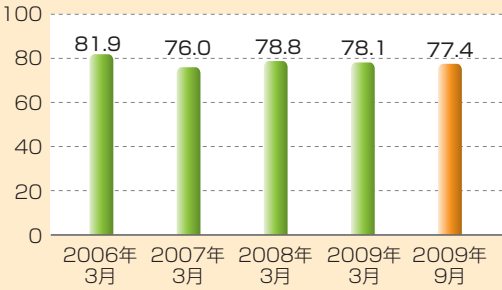
	当第2四半期 累 計 期 間 (2009年4月～ 2009年9月)	前第2四半期 累 計 期 間 (2008年4月～ 2008年9月)
営業活動によるキャッシュ・フロー (うち減価償却費)	5,770 (2,949)	7,834 (2,933)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,361	△ 2,039
財務活動によるキャッシュ・フロー (うち配当金の支払額)	△ 1,383 (△ 1,204)	△ 1,191 (△ 1,208)
現金及び現金同等物に係る換算差額	29	△ 121
現金及び現金同等物の増加額	2,055	4,483
現金及び現金同等物の期首残高	41,680	31,389
現金及び現金同等物の四半期末残高	43,735	35,873

連結経営指標

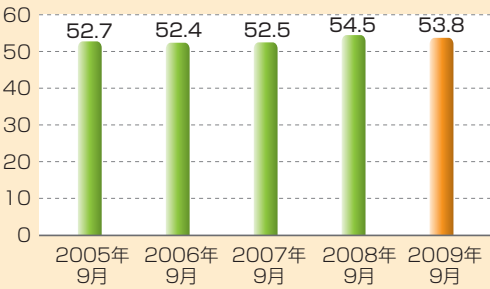
自己資本当期純利益率(ROE) 単位:%



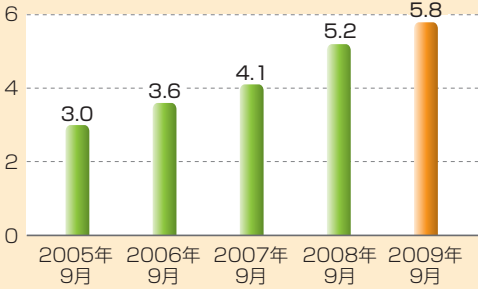
自己資本比率 単位:%



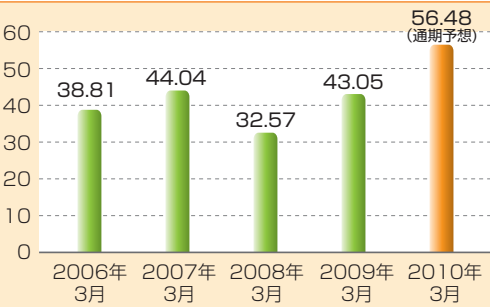
売上原価率 単位:%



売上高営業利益率 単位:%



一株当たり当期純利益 単位:円



貸借対照表

単位:百万円

	当第2四半期末 (2009年9月30日現在)	前期末 (2009年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	85,825	80,066
固定資産	133,308	131,507
有形固定資産	38,747	39,361
無形固定資産	2,604	2,834
投資その他の資産	91,957	89,312
資産合計	219,133	211,573
負債の部		
流動負債	31,272	29,927
固定負債	2,634	1,531
負債合計	33,907	31,458
純資産の部		
株主資本	182,499	179,107
資本金	9,948	9,948
資本剰余金	23,815	23,815
利益剰余金	150,059	146,665
自己株式	△ 1,324	△ 1,322
評価・換算差額等	2,728	1,008
その他有価証券評価差額金	2,728	1,008
純資産合計	185,227	180,115
負債純資産合計	219,133	211,573

損益計算書

単位:百万円

	当第2四半期 累計期間 (2009年4月～ 2009年9月)	前第2四半期 累計期間 (2008年4月～ 2008年9月)
売上高	80,839	79,929
売上原価	38,853	39,077
売上総利益	41,985	40,853
販売費及び一般管理費	35,348	34,916
営業利益	6,637	5,937
営業外収益	1,154	1,380
営業外費用	164	67
経常利益	7,627	7,250
特別利益	8	2
特別損失	211	474
税引前四半期純利益	7,424	6,778
法人税、住民税及び事業税	2,822	2,655
四半期純利益	4,602	4,123

会社概要

(2009年9月30日現在)

- ◆創業年月日 1913年11月11日
- ◆設立年月日 1947年6月7日
- ◆資本金 9,948,323,523円
- ◆事業内容 食品製造加工ならびに販売、その他
- ◆従業員数 2,210名
- ◆所在地 大阪本社／〒577-8520
大阪府東大阪市御厨栄町一丁目5番7号
TEL 06-6788-1231（大代表）
東京本社／〒102-8560
東京都千代田区紀尾井町6番3号
TEL 03-3264-1231（大代表）

役員

(2009年9月30日現在)

取締役会長	小瀬 防	常務執行役員	尾崎 俊郎
取締役社長	浦上 博史		伊藤 研三
取締役専務執行役員	松本 恵司		野村 孝志
取締役常務執行役員	溝井 寛		堀尾 啓司
	上 始		加藤 智一
	広 勝		加藤 昌男
	藤 井 豊	執行役員	山口 守世
取締役	山本 邦克		一柳 和文
			藤村 浩史
			工東 正彦
			青山 寛二
			坂元 竜太
			西田 弘一
			柴原 章
			小池
監査役	藤堂 勝久		
	吉村 光央		
	由本 泰正		
	治郎 丸清		
	三 浦 勁		

グループ会社

(2009年9月30日現在)

連結子会社（16社）

●国内会社 ●海外会社

- 株式会社デリカシェフ
- サンハウス食品株式会社
- ハウスウェルネスフーズ株式会社
- ハウス物流サービス株式会社
- 株式会社ハウス食品分析テクノサービス
- サンサプライ株式会社
- 株式会社エスパック
- ハイネット株式会社
- 朝岡スパイス株式会社
- ハウスビジネスパートナーズ株式会社
- ハウスフーズホールディング USA Inc.
- ハウスフーズアメリカ Corp.
- 上海ハウス食品有限会社
- 上海ハウスカレーココ壱番屋レストラン有限会社
- 台湾カレーハウスレストラン株式会社
- 韓国カレーハウス株式会社

持分法適用関連会社（5社） ●国内会社 ●海外会社

- 株式会社ヴォークス・トレーディング
- 株式会社壱番屋
- サンヨー缶詰株式会社
- 上海ハウス味の素食品有限会社
- 株式会社ジャワアグリテック

株式の状況

(2009年9月30日現在)

発行済株式総数 110,878,734株
発行可能株式総数 391,500,000株
株主総数 39,504名
1単元の株式数 100株

《2010年3月期配当金》

	1株当たり配当金
第2四半期末	11円00銭
期末(予想)	11円00銭
年間(予想)	22円00銭

大株主

(2009年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ハウス興産株式会社	12,585	11.35
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,987	8.11
株式会社HKL	6,000	5.41
株式会社三井住友銀行	3,668	3.31
財団法人浦上食品・食文化振興財団	2,872	2.59
浦上 節子	2,734	2.47
味の素株式会社	2,693	2.43
日清食品ホールディングス株式会社	2,463	2.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,318	2.09
日本生命保険相互会社	2,310	2.08

株主優待

毎年3月31日現在、当社株式100株以上を所有されている株主さまを対象に、下記の基準により当社グループの製品詰合わせを贈呈いたします。

100株以上1,000株未満

[1,000円相当の詰合わせ]



1,000株以上

[3,000円相当の詰合わせ]



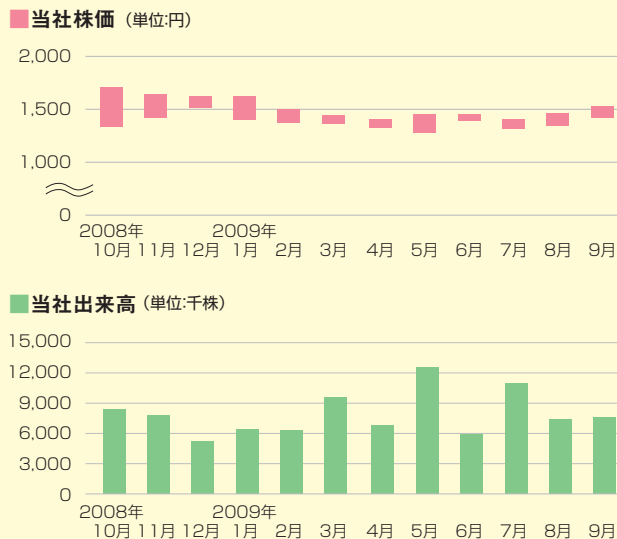
※2009年3月31日現在の株主さまに贈呈した株主優待製品です。

株主メモ

- **事業年度** 4月1日から翌年3月31日
- **中間配当制度** あり
- **定時株主総会** 毎年6月開催
- **株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関** 住友信託銀行株式会社
大阪市中央区北浜四丁目5番33号
- **株主名簿管理人
事務取扱場所** 住友信託銀行株式会社 証券代行部
大阪市中央区北浜四丁目5番33号
〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部
- **【郵便物送付先】**
- **【電話照会先】** ☎ 0120-176-417
- **公告の方法** 電子公告により、当社ホームページ <http://housefoods.jp>
に掲載して行います。
ただし、電子公告を行えない事由が生じたときは、
日本経済新聞に掲載いたします。
- **上場証券取引所** 東京・大阪
- **証券コード** 2810
- **ハウス食品
株主さま窓口** ハウス食品株式会社 総務部 総務課
〒577-8520 大阪府東大阪市御厨栄町一丁目5番7号
電話 (06) 6788-1214

株価・出来高の推移

〈東京証券取引所〉



■ 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

株券電子化に伴い、株主さまの住所変更等のお届出およびご照会は、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

■ 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座に記録された株式については、引き続き株主さまとしての権利(配当金の受領等)は保護されますが、市場での売買ができないなど一定の制約がございます。市場での売買を行うには、特別口座から証券会社等の口座に株式を振替える必要がございます。

特別口座についてのご照会は、下記の電話照会先をお願いいたします。

住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-176-417

ハウス食品株式会社

〒577-8520 大阪府東大阪市御厨栄町一丁目5番7号
電話 (06) 6788-1231 (代表)
<http://housefoods.jp>

